

大分教育事務所訪問②-13 (計 86)

臼杵市立福良ヶ丘小学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

学校の教育目標を達成するために、「学校評価の4点セット」のそれぞれの取組について、教職員等の実施率と取組状況、子どもの達成状況と検証、改善策が明確に示されており、実効性のある検証・改善サイクルとなっています。

また、学力調査結果やアンケートも、単にパーセントの上がり下がりだけでなく、学校からの説明から「数字には子どもがいる」という思いが伝わりました。

注目すべきは、年度当初に定めた3つの「学校として育成を目指す資質・能力」を、「コミュニケーション能力」だけに絞り込んだことです。このことで、各重点目標の取組で育成すべき「資質・能力の3本柱」を、「コミュニケーション能力」という教科等横断的な視点で行うことができ、それぞれの重点的取組や取組指標につながりが生まれ、カリキュラム・マネジメントも推進されることでしょう。

今後は、実践をとおして本校が目指す「コミュニケーション能力」について定義をされたら良いと思います。そして、教科等において、本時のねらいや評価規準を明確にしながらも、「コミュニケーション能力」の視点を意識した実践を行うことで、本校の目指す子ども像（特に「たくましい子」）に近づくことでしょう。定義をする際には、地域や保護者の方とも熟議等を行うと、より協動的な取組が行われると思います。

※参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp.47-53

(2)教科等横断的な視点に立った資質・能力 ア言語能力」



NO.384 2021年10月 臼杵市立福良ヶ丘小学校

かしこく

自分の考えをもつ。友達のを考えを受け入れる。疑問をもつ。質問できる。そんな、積極的に授業に参加する人がかしこい人。

授業から学ぶ

全学級を参観しましたが、タブレットや資料などを効果的に使用しているので、どの学級も学びに向かう子ども達の姿がありました。また、指導案

は前回提案したように、子どもが書くべき文章で示されていました。今後とも、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」で表し、互見授業などでお互いの協議することをおして、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になると思いました。



NO.386 2021年10月 臼杵市立福良ヶ丘小学校

成長年表

4月の頃の自分と比べると、大きく成長しましたね。そして、成長する集団になってきましたね。



NO.383 2021年10月 臼杵市立福良ヶ丘小学校

おもいやり

相手が見やすい位置で、相手にわかりやすい言葉で説明する。常に相手軸で。



NO.385 2021年10月 臼杵市立福良ヶ丘小学校

つよい

勇気をもって挙手ができるのは、自分で決めたことだから。周りには流されない。